

1月14日(金)には、3回目のインタビュー「SDGs×探究人インタビュー」が実施されました！今年度初の対面でのインタビューでした。実際に社会の中で、今と未来を大切にしながら事業に取り組んでおられる魅力的な方々と交流させていただき、様々な取り組みを知ると同時に、探究人の皆さんの思いやそれを実現していくアクションから刺激を受けた人もいたのでは？

1年次の探究のテーマは「実体験を通して社会に目を向ける」。社会で活躍するみなさんとの出会いから、自分も社会の一員であるということを感じ、社会への関心が高まったり、自分に関わりのあることとして感じられるきっかけになってくれると嬉しいです！

## 12月17日(金)「SDGs×探究人インタビュー 事前準備」

まずは、グローバル概論の3つのワークショップ、これまでの2回の探究人インタビューを振り返りをグループで行いました。

会社のHP、取材動画、note、雑誌記事などから皆さんの情報を調べ、インタビュー内容を考えています！



## 1月14日(金)「SDGs×探究人インタビュー」

高校生にも身近な良品計画の鈴木さん。  
ただイベントを開催するだけではなく、参加者と一緒に行動して環境の改善に関わるという発想が心に残りました！



積極的で、「こうしたい！」という圧倒的なパワーを受け取った塚本さんグループ

資源の地産地消！廃棄物を出さない、資源を循環させる経済の仕組みを学んだ、駒何さんグループ



食べることを通して人と繋がる素晴らしさ、新しい世界に飛び込むことで自分を高められることを受け取った和田さんグループ！

笑顔が印象的な、三浦さん。誰もが何かしらの可能性を秘めていて、まだ眠ったままの可能性が日本にはたくさんあることを伝えてくれました！



明るく、力強い言葉で語りかけてくれた高橋さん。「規格外野菜は売ろうと頑張っているけどどうしても見た目で判断されるのが悲しいところ」という言葉が印象的でした！

レアックスの鈴木さんからは、身近なことから主体的にSDGsに貢献していくことが大切とのメッセージを頂きました！

人のせいにならず自分の人生を決めるという言葉が印象的だった成田さん！





身近にあるものが世界に繋がっている  
ということを受け取った村上さんチーム

栗田さんのグループでは、環境に配慮し、市民のニーズに応えている  
ペロタクシー。札幌の街を走行する姿を見たことがある人も！



「いい勉強は問いと出会えたから」  
という言葉が印象的だった  
南澤さんのチーム

←南澤さん班の人のメモ！  
聞きながら、解釈、このまとめ！  
尊敬です！すごい！！

菅原さんチームでは、ジェンダー平等に対して、日本はどのような対応  
していて、札幌での女性の起業などの現状を学びました！



司会、謝辞をしてくれた人ありがとう！  
質問に挑戦した人もたくさんいました！

放課後の時間も、個別にお話に来た人も！  
一歩踏み出す姿に感動しました！



ただ受け身で参加することから、少し勇気を出して学びの機会を掴みに！

2・3年生の先輩方も参加し、活発で温かい放課後の座談会でした！

### 生徒のみなさんの振り返りから・・・

【菅原さん】「一人ひとりの立ち位置によって、スタンスが決まりジェンダーの見える景色が違って来る」と言う言葉が印象に残りました。ジェンダー問題について色々思うことはあるけれど発言者の立ち位置もこれから知り考えたいと思いました。また、私はジェンダー平等を進めたい一方で、平等になりすぎると個性がなくなってしまう良くないのではないかも思っています。

【高橋さん】学生というのはブランドで沢山の人の応援され、重い責任を負うこともないからどんどんやってみることが大切だと聞いて、自分も気になるところをチャレンジしてみようと思いました。また、人との繋がりは将来自分を助けてくれると知ったので今もこれから出会う人も大切にしていこうと思います。

【和田さん】ものすごく明るい方で、思ったことをすぐに行動に移せることがとても尊敬しています。「やろうと思ったらやってみる。失敗しても死にはせん。」という言葉は確かに思ったし、実際そうわかっていても何かしらの不安を抱えて何もできないという事が多いからこの言葉を胸に今後はたくさんチャレンジしてみようと思いました。

【南澤さん】実際に子供たちと数ヶ月過ごして感じたことや、立ち止まって自分の将来について考えることも大切だと伝えてくれてとても深く考えられた。

【鈴木恵一さん】地域に貢献していくことは単純に助けるだけではなく、その地域に住んでいる人が自らがこの地域を作ったんだと言えるような関わり方や取り組み方をすることが大切なのだと分かった。

【鈴木さん・鷺見さん】他の国へも目を向けるという言葉が1番印象に残っていて、日本での今の生活が当たり前ではなく、それが当たり前ではない国がある、そして自分達には何が出来るのかを考えていきたい。

【駒谷さん】これからの社会は資源を循環させることが大切で、服とかは兄弟にゆずるとかが第一で、リサイクルはその後みたいなことを知れた。また努力して、周りから褒められたり嫌なことを言われるような立場になれという言葉が響いた。

【塚本さん】地域に寄り添ったラジオ局だからこそ出来ることや、よりよい地域のためにということを一に考えているということを感じました。また、塚本さん自身がこのお仕事にやりがいや、楽しみを見出しているということがすごく良いことだと思印象に残りました。

【三浦さん】色々な子供たちに寄り添って、話を聞いてあげたりアドバイスしたりとても印象に残っています。自分たちにはまだまだ未知の可能性があるということを気付かされました。どんな時でも縁を大切に、自分の可能性を信じてこれから生活しようと思わせてくれました。

【栗田さん】北海道の資源に対する熱い思いを感じた。ペロタクシーを次見かけたら乗ってみて、少しでも地球温暖化対策に貢献できるように、自分の行動から見直して一気に変えようとせずできることから少しずつ変えていきたいと思う。

【成田さん】周りの人にどんなにバカにされたり無理だろとか言われたりしても諦めずに努力していてすごい方だなと思いました。また、いろいろな世界を見るために自分から勇気を出して行動していてすごいなと思いました。

【村上さん】話を聞いて、生産者と販売者の関係を考えて食べ物などを買おうと思った。これが自分にできることだと思った。自分の力で、少しでも17の目標に近づけていきたいと今回の講演を聞いて思うようになった。

来週からは、今回のインタビューをまとめ、クラス内発表会を行い、自分が感じたこと、学んだことを振り返ります！